



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

ムハンマド中傷映像とイスラーム過激派：反応と今後の展望

中東調査会イスラーム過激派モニター班

2012年9月、インターネットの投稿サイトなどでイスラームの預言者ムハンマドを中傷する映像にアラビア語の字幕を付した映像が出回った。これを受け、アラブ・イスラーム諸国で映像の製作地となったアメリカに対する抗議行動が発生した。抗議行動は9月11日～14日に一つの山場を迎え、エジプト、リビア、チュニジアで米国大使館・領事館が抗議のデモ隊に襲撃された。特に、リビアではベンガジの米国領事館がマシンガンやRPGを装備した武装集団に襲撃され、駐リビア米国大使等4名が殺害されるに至った。

一連の事件について、リビアをはじめとする過激な行動で、アル・カーイダなどイスラーム過激派の「組織的関与」に言及する憶測も流れた。

・・・・・・・・分析については会員限定といたします。・・・・・・・・